

八中だより

平成22年6月 1日

第2号

市川市立第八中学校

校長 山元 幸恵

体育祭を終えて

天候にも恵まれた5月15日、今学期最大の学校行事である体育祭を、多くの来賓や保護者を迎えて実施することができました。体育委員長をはじめとする各係の号令の下、生徒が気持ち一つにして掛け声をかけ、きびきびと動く姿は、大変すがすがしく、感動を覚えました。来賓の方からも、「テレビで報道される様々な事件に、今時の中学生はどうなっているのかと危惧する思いが強かったが、開会式や競技に臨む生徒の姿を見て、そんな気持ちが吹き飛んだ。感動した。」といったお言葉をいただきました。

「自分の気持ちを抑え、集団の中の一人として全力を尽くし、何かを成し遂げる」この体育祭での体験は、生徒の心の成長に欠くことができない大切なものであると考えます。もちろん、「個人」は尊重されなければなりません。しかしその前提として、「きちんと自分の責任を果たせる人間であること」の大切さを、一人ひとりの生徒がきちんと理解し、この八中を巣立ってほしいと考えています。

修学旅行・校外学習で学ぶ

本校では、3年間の中学生生活の中で、「社会のルールを守り、一般社会の中で適切に行動できる力」と「小集団の中で、自分で考え、判断し、協力して行動できる力」を生徒たちに身につけさせたいと考え、班別の校外学習を実施しています。1年では「上野」、2年では「鎌倉」、3年の修学旅行では「奈良・京都」と、段階を追って行動範囲を広げるとともに、教師主導から、生徒の主体性を尊重した活動となるよう計画しています。生徒自身が一からコースをつくり、持物をはじめとする様々な行動についてのルールも代表が話し合っって適切に決め、実際にそれに従って行動できる生徒に3年間で成長してほしいと考えています。

今年度は、5月23日(日)～25日(火)に、3年生の修学旅行が実施されました。ちょうど、前線を伴う低気圧が通過していて、1日目・2日目ともに、土砂降りの雨となっってしまい、予定していたバスが来なかったり、移動に時間がかかったりと、各班とも、様々なアクシデントに見舞われていました。しかし、諦めたり、勝手な行動を取ったりすることなく、自分たちの決めた計画をやり遂げようと、雨の中、他の班員を気遣いながら、一生懸命前に進む多くの生徒たちの姿をみることができました。

1年生、2年生とともに、今週実施される班別校外学習で、今後につながる多くのことを学んできてくれることを期待しています。



定期試験に向けて

6月16・17日に、定期試験が実施されます。これは、生徒一人一人の学習の到達度を評価する場であるとともに、生徒自身が、日々の学習内容をもう一度振り返り、整理して自分のものにするための、生徒自身にとって大切な機会でもあります。

2・3年生は、その意味を十分理解していると思いますが、試験前5日間は、部活動も中止となります。これも、試験という与えられた機会を生かして、一人一人が、自分で計画的に学習に取り組むための時間を確保するために行うものです。

中学校の試験は小学校のそれとは、全く違います。自分自身で努力せず、ただ試験を受けても全く自分のためにはなりません。試験結果の点数よりも、試験に向けて努力する習慣が身に付いているか、自分なりに勉強法を工夫できたか、最後まで諦めずに努力したかが大切です。

そして、当たり前なのですが、どんなに試験前努力できたとしても、やはり1時間1時間の授業をおろそかにしては、決して真の学力を身に付けることはできません。日頃、各授業を参観していて強く感じることは、生徒の授業への集中度に大きな差があるということです。

例えば、①学習に必要な用具がきちんと机の上に用意されている ②先生の話を理解しようと意識して聴いている ③人任せにせず、自分なりに考え、それをノートにまとめたり、発言したりしているなど、しっかりできている生徒もいますが、机上が乱雑であったり、まったく違うことを考えてボーとしていたりする生徒も見られます。

日々の練習を重ねることで、スポーツが上達するように、学力も日々の努力無しに身に付けることはできません。勉強が苦手と思う生徒こそ勉強から逃げずに、まず、試験に向けて授業に集中しましょう。

また、ご家庭でも、日頃の授業の様子や家庭学習の状況について、ぜひこの機会にお子様と話し合っただけいただけたらと思います。



開かれた学校づくりを進めるために

本校の教育活動をより充実させるため、これまでも様々な形で本校の教育活動にご協力いただいている下記の方々に、本年度の学校評議員をお引き受けいただきました。各評議員の方々には、機会あるごとに学校の様子を見ていただき、第三者の立場から気付いたこと等教えていただくとともに、今後の教育活動への提言をいただきたいと考えております。また、教育に関する専門家の立場から、本校第八代校長であり、現在、県総合教育センターで後進の指導に当たっていらっしゃる木村 節夫先生からも、アドバイザーとして様々な提言をいただくことにしております。

【平成22年度 本校 学校評議員】

五十嵐 一樹 氏

中村 保彦 氏

木島 希子 氏

堀川 睦子 氏

佐藤 博彰 氏